





#### 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

# 子どもたちといっしょに私たちができること

春暖の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より「認定NPO法人ラ・ファミリエ」の活動へのご理解とご協力、ご支援をいただきありがとうございます。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

令和5年8月19日~20日、1泊2日で、「媛っこすくすく愛キャンプ」にみんなで行くことができました。直接会って、交流できることの大切さをあらためて感じております。

新型コロナウイルス感染症の、感染症法上の位置づけが、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、社会活動が再開されました。慢性疾病のある子どもたちにとって、その脅威が完全に払拭されたわけではありませんが、コロナパンデミックから学んだことを生かし、対面の必要性とリモートの得意なところを認識して、感染症のリスクと地域性や距離を超えて、みんなで取り組んでいるところです。不安や悩みを抱える子どもたちとそのご家族に対して、社会的にも精神的にも孤立しないように、病気と向き合えるように寄り添っていきたいと思います。そして、コミュニケーション能力を培い、自己管理能力や自己決定力の向上により、病気の管理や予防、健康的な生活習慣の確立などをめざしていきたいと考えています。

子どもたちが、慢性疾病を乗り越えて、成長・発達し、社会的に自立できるようになることは、小児医療をはじめ、小児保健・福祉、教育、就労分野の関係者など、子どもに携わるみんなの共通の願いです。一疾病・就園・就学・学校生活・学習・進学、きょうだいのこと、就職と就労継続、自立と自律、恋愛・結婚・移行・生涯ーへと、ライフステージに合わせた切れ間のない支援体制が望まれます。医療ー福祉ー教育一就労の機能的融合と、多領域・多職種・専門職が実質的に連携のもと、ラ・ファミリエに相談すれば何とかなるかも…といわれるような「地域子どものくらし保健室」を目指して、スタッフ一同、真摯に取り組んで参る所存ですので、これからも、ご指導・ご鞭撻・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年3月吉日



檀垣 高史 (ひがき たかし) 認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事長 愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座 /移行期・成人先天性心疾患センター

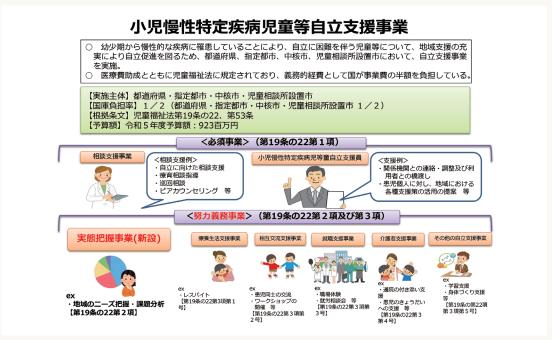
はじめに 1 目次 2
01 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業とは?
小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の目的・内容 3 認定 NPO 法人ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室の取り組み
02(必須事業)相談支援事業
地域子どものくらし保健室・愛媛大学医学部附属病院小児外来面談室・ファミリーハウスあいでの相談 4 ピアカウンセリングの活動について(親の会・患者会の紹介)
03(努力義務事業)相互交流支援事業
交流会8・9・10媛っこすくすく愛キャンプ11・12・13・14
04(努力義務事業)就職支援事業
技能研修 (iPad 研修)15就職活動に向けて15
05(努力義務事業)介護者支援事業
きょうだい支援
06 (努力義務事業) その他の自立支援事業
学習支援       17 · 18         自立支援員育成研修       18         成果報告会       19
07 支援販売機について
ラ・ファミリエ支援販売機設置のお願い・・・・・・・・20
08 会員募集・寄付のお願い
会員募集・寄付のお願い 21・22
おわりに

# ■小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の目的・内容

小児慢性特定疾病として、小児がんや慢性疾患等、16疾患群(788疾病)が認定されています。これら慢性的な疾病を抱える対象児及び家族に対し、自立や成長支援について、家族の負担軽減のために必要な情報提供・助言、関係機関との連絡調整やその他事業を行うことを目的としています。

# ■小児慢性特定疾病児童等自立支援事業とは?

平成27年1月1日より、児童福祉法第19条の2・第53条に基づき行われるようになりました。



<厚生労働省作成資料より>

# ■認定NPO法人ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室の取り組み

地域子どものくらし保健室では、相談支援をはじめ、ピアカウンセリング、相互交流支援、 就職支援、学習支援、きょうだい支援、その他支援を含む小児慢性特定疾病児童等自立支援 事業(愛媛県、松山市より委託)の他、移動相談カーを活用した移動相談カフェ、学習支援ボ ランティア育成などの事業を行っております。

小児慢性特定疾病児だけではなく、その他疾病や難病のある子どもとそのご家族が、地域の中で生き生きと生活をするために、医療や福祉、教育関係、企業等、さまざまな期間と連携できるよう、よろず相談から医療的ケアまで、さまざまな相談の窓口としてお子さんに関するご相談を受け付けております。



# ■地域子どものくらし保健室・愛媛大学医学部附属病院 小児科外来面談室・ファミリーハウスあいでの相談

地域子どものくらし保健室では、平日と第1・3土曜日(10時~17時)に、社会福祉士、介護福祉士、自立支援員が病気のある子どもとそのご家族を対象に、自立及び就学・就労をはじめ生活全般の相談に応じております。愛媛大学医学部附属病院では、小児科外来の面談室にて、第1・3月曜日と第2・4木曜日の月4回出張相談を行っております。また、ファミリーハウスあいでは、第1・3金曜日に相談を行っております。

他にも、県内の各基幹病院でも出張相談を行っておりますので、ホームページまたはFacebookをご確認ください。



ファミリーハウスあい



愛媛大学医学部附属病院小児科外来 面談室



ホームページ



Facebook



#### 令和5年度月別相談数(愛媛県全体)

月	医療関連 (治療関連、 社会保障など)	相互交流支援 (情報共有、交流会 など)	就労支援	介護者関連 (きょうだい支援、 付添いなど)	就園・就学支援	学習支援	ピアカウン セリング	その他	計
4月	7	7	5	0	14	38	0	7	78
5月	14	11	11	1	17	47	1	10	112
6月	6	2	8	0	9	40	0	10	75
7月	4	3	5	0	18	73	0	6	109
8月	6	3	5	1	10	58	0	9	92
9月	3	5	8	1	11	38	0	8	74
10 月	12	2	5	1	20	49	1	17	107
11月	4	1	3	2	8	37	1	6	62
12 月	9	2	2	0	9	21	0	13	56
1月	2	1	2	0	6	36	0	8	55
2月	3	0	7	6	8	24	0	13	61
3月	4	2	12	1	12	33	0	10	74
合計	74	39	73	13	142	494	3	117	955

# ■ピアカウンセリングの活動について(親の会・患者会の紹介)

病気や障害のある子どもと家族を支援するためにファミリーハウスあい(通院や入院中の付き添い等に利用できる滞在施設)や 地域子どもの暮らし保健室、親の会や患者会によるピアカウンセリングを行っています。

#### ※ピアカウンセリングとは・・・

同じような病気や障害のある(又は、経験した)人たちが支えあって悩みを共有し、共感できる仲間を持つことで精神面のサポートを行うこと、 自立生活のための知識・情報交換などを行うことを指します。ラ・ファミリエではそれぞれの親の会と連携し、活動を行っています。

## 親の会紹介

#### がんの子どもを守る会 愛媛支部

当会は小児がんで子どもを亡くした親たちによって、一日も早い 小児がんの征圧と患者とその家族のクオリティオブライフの向上 を目指して、1968年に設立された全国組織で、愛媛支部は1993年 に設立されました。さまざまな問題に直面するがんの子どもとその 家族を少しでも支援できればと、年数回の例会をもち、また年一回 の講演会、親睦会などを行っております。

【対 象】小児がん(血液・固形腫瘍)患者家族の方、また当会の活動 にご替同くださる方

【活動日・場所】幹事会/懇談会(開催日:日曜日(不定期)/いのうえ小児科にて)

※開催日時については、電話・メールでお問い合わせください。 支部会/野外親睦会、展示会等 ※日時、場所は本部HPでご案内します。 【連絡先】代表幹事 忽那博司

〒790-0924 松山市南久米町乙24-115 電話 089-955-0055

E-mail: hkutsuna@abelia.ocn.ne.jp 本部: http://www.ccaj-found.or.jp/

## 愛媛県心臓病の子どもを守る会

私たちは心臓病児者とその家族が交流や親睦を深め、病気や障がいを乗り越えていけるよう、手をつなぎ力を合わせ楽しい会をしています。

- 1.毎月1回本部機関誌と支部報の発行 2.定例会(毎月1回)
- 3.専門医による勉強会 4.キャンプおよびクリスマス会
- 5.その他レクリエーション

【対 象】県内の先天性心臓病の子どもとその家族、会の趣旨 に賛同してくださる支援者

【活動日】定期:毎月第1日曜日11:00~14:00(1月・8月休み)

【場 所】ファミリーハウスあい

【連絡先】担当:愛媛県事務局 塩見光恵 〒793-0043 西条市樋之口398-11 電話/FAX 0897-56-9606

ホームページ http://www.heart-mamoru.jp/

#### 愛媛県重症心身障害児(者)を守る会

当会は「最も弱いものを一人ももれなく守る」という理念に沿って、在宅、施設で暮らす重症児(者)が安全に安心して暮らせるよう、医療、福祉、教育関係者と重症児(者)家族との連携に努めています。また、巡回療育相談や各種研修、個別相談などを通じて、必要な情報を提供します。

【対象】重症心身障がい児(者)とその保護者

重症心身障がい児(者)とは、重度の肢体不自由と重度の知的障がいを 幼い時からあわせもつ児・者をいいます。

【活動日】理事会随時開催。オンラインでの研修、情報交換随時。

【場 所】愛媛県内

【連絡先】会長:岩井正一 携帯 090-8975-7127

E-mail: ich.s.iwai@amail.com

社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会

ホームページ https://mamorukai-ehime.blogspot.com/

## 愛媛県 PWS の会

稀少疾患であるプラダー・ウィリ症候群(PWSと略)の患者と家族が、よりよく暮らすことができるように、家族・医療・教育・施設関係者を含めて、情報交換や相談をする会として活動しております。1993年より年に1度親子の集いを開催しています。

【対象】PWSの患者・家族の方、PWSの方が通っている園・学校・施設の関係者、PWSの医療にかかわる医師・栄養士・心理士、PWSの保健指導に関わる保健師など。

【活動日·場所】年に1回程度の頻度で「愛媛県PWS親子の集い」を 開催

【連絡先】松山市民病院小児科 重見律子 〒790-0067 愛媛県松山市大手町2-6-5 電話 089-943-1151 FAX 089-947-0026 E-mail:rishigem@ehime.med.or.ip

#### 日本ダウン症協会 愛媛支部

ダウン症児(者)の健やかな成長と社会参加を願って活動しています。会員家族の親睦·交流活動、ダウン症に関する、啓発活動、情報提供、相談活動を行っています。

【対 象】ダウン症候群の本人と父母、並びに賛助会員

【活動日】決まっていません

【場 所】定例会: 松山市総合福祉センター その他の活動は県内各地

【連絡先】支部長: 角田敏郎 電話 089-972-0934

E-mail: jds321ehime@yahoo.co.jp

## 愛媛ブルーランドファミリーの会

#### (小児糖尿病患者の家族会)

愛媛ブルーランドファミリーの会は、小児期に発症した糖尿病患者さんおよびその家族が、サマーキャンプ等を通じて糖尿病に対する知識および経験を深め、糖尿病があっても普通に生活が送れることを目的とした会です。サマーキャンプの参加の問い合わせや、保育園・幼稚園・学校生活に関する悩みなどがありましたら、いつでもご連絡ください。

【対象者】 愛媛県内に在住するインスリン治療中の小児期発症糖尿 病患者とその家族

【活 動】 サマーキャンプ及び家族会の開催(8月上旬)、日常生活や学校生活に関する相談等(随時)

【事務局】愛媛大学医学部看護学科内

愛媛ブルーランドファミリーの会事務局

【連絡先】担当:薬師神·井上

電話 089-960-5401(薬師神) FAX 089-960-5423 E-mail: ehime.blueland.camp@gmail.com

## 公益社団法人 日本てんかん協会 愛媛支部

「てんかん」という病気を正しく理解してもらい、患者や家族の悩みや苦しみを解決するために活動しています。専門医を招いての講演会、会員総会、交流会、全国大会や各ブロックでの交流会への参加などさまざまな活動を世話人が中心となって行っています。

【対 象】16歳以上の方ならどなたでも入会できます。

会員には正会員、賛助会員、家族会員、月刊誌「波」の購読を希望する 購読会員があります。

【活動日】定例会は原則毎月第1土曜日13:00~です。支部総会は 4月、全国大会などはてんかん月間として10月に行います。

【場 所】主に松山市総合福祉センターで行います。

その他の活動は県下各地で行っています。

【連絡先】代表: 仙波ひとみ 東温市南方1864-1(仙波方) 電話 089-966-5932(18時以降) FAX 089-966-5932

【備 考】若いお母さんたちのプチママ会や患者本人の活動を行っています。毎年、8月の夏季てんかん講座や、オンラインてんかん講座を行っています。

#### 『ムーブオン媛ネット』愛媛県医療的ケア児者等家族会

当会は、医療的ケアはもちろん、どんな障がいがあっても、すべての子どもたちが家族と一緒に、子供たちらしく輝いていけるように、とういう願いがあります。医療的ケア児とその家族や支援者がつながり、日々の些細なことや悩み、気持ちなどいろいろなことを話し、共有しています。

【対 象】医療的ケア児者(重症児者含む)の保護者、本人、支援者

【活 動】不定期に座談会や集いを開催予定(オンラインの場合あり)、 定期総会は年1回開催

【場 所】愛媛県内

【連絡先】E-mail: move.on.hime.net@gmail.com

ムーブオンHP: https://moveon-himenet.blogspot.com/

## 特定非営利活動法人 SIDS 家族の会

1.流産や死産、SIDS、その他の病気等で、子どもさんを亡くした家族への精神的援助。2. SIDS等に関する知識の普及。3. SIDS等に関する研究活動への協力。これらを通じて子どもとその家族の健康、福祉の増進に寄与することを目的としています。

【対 象】流産、死産、SIDS、その他の病気で子どもを亡くした家族 または子育てに関するすべての方。

【活動日】遺族ミーティング/中・四国エリア年3回

松山開催(不定期)電話・メールによる相談(随時)

【場 所】中・四国エリア:愛媛開催1回 香川開催1回 その他開催1回 松山開催:ファミリーハウスあい 他 【連絡先】ホームページ http://www.sids.gr.jp/

E-mail: sids-ehime@dol.hi-ho.ne.jp

電話相談 050-3735-5341

## JDDnet 愛媛(日本発達障害ネットワーク愛媛)

ASD(自閉スペクトラム症)、SLD(限局性学習症)、ADHD(注意欠如・多動症)等の発達障がいのある人と家族の福祉の増進に寄与することを目指して、平成20年10月8日に設立されました。情報交換、学習会及び普及 啓発活動、行政機関等に対する要望活動を行っております。

【対 象】愛媛県内の発達障がいの親の会を中心に、関係する専門団体、職能団体、支援団体等

【活動日】年4回の定例会(6月、9月、12月、3月)

【場 所】6.12月中予、9月南予、3月東予

【連絡先】「JDDネット愛媛 | 代表 田中輝和

E-mail: jddnetehime@hotmail.com FAX: 089-965-2563

【備 考】加盟団体:31団体

## 小さく生まれた赤ちゃんとご家族の交流サークル 「えひめリトルレインボー」

当会は、早産児、低出生体重児のお子さまがいる家族のためのお話し会です。同じ境遇の仲間と共に話し合うことで心の共有を目的としています。

【対 象】NICU&GCUを卒業されたご家族、現在も入院中のご家族、 サークル活動のサポートをしたい方

【活 動】不定期にお話し会、世界早産児デーに合わせた写真展を開催 ※公式ラインアカウント、インスタグラム、フェイスブックでお知らせしています。

【場 所】松山市周辺、またはオンライン

【連絡先】ライン公式アカウント: @szu5468m

#### 愛媛県松山市アレルギーっ子の会 スマイル kids

主に食物アレルギーのある子どもとその家族が、笑顔で自分らしく過ごせるよう、情報交換や座談会、クッキングなどを行っています。また、防災・減災活動にも力を入れています。アレルギーのある方とそうでない方が一緒に社会で共生していけるように、理解を深める活動にも取り組んでいます。主に松山市で活動をしていますが愛媛県内からの参加も可能です。(コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、オンラインでのおしゃべり会に変更している場合があります。詳しくはお問合せ下さい。)

【対 象】食物アレルギーのある子ども、その家族、興味のある方

【活動】不定期 ※随時

【場 所】民間児童クラブ、公民館、イベント会場など 【連絡先】代表:宮崎 電話 090-5140-7164

E-mail: smile.kids.ehime@amail.com

## NPO 難病支援ティンクル

幼少期からの病気や障がいにより長期療養が続き、思春期・成人期を迎えても医療、教育、福祉、行政等の制度上の問題により十分な支援を受けられず、現状や将来に不安を抱える人、どこにも行き場のない当事者やその家族が平穏に暮らせるよう、移行期へ向けての支援活動をしています。

【活動日】不定期 ※随時

【場 所】認定NPO法人ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室 【連絡先】理事長:日山朋乃 電話 090-8283-9919

● 紹介しました以外にも県内外にはたくさんの親の会がありますので、 地域子どものくらし保健室までお問い合わせください。

#### ペアレント・メンターえひめ

発達障がい児の子育て経験のある親がその経験を活かして、子どもが発達障がいの診断を受けて間もない親等に対する相談や情報提供を行っています。

【対 象】発達障がい(疑い含む)のお子さんの親

【活動】月1回ペアレント・メンターcafe、メンター養成講座、個別相談、フォローアップ研修の開催

日程等はFacebookに掲載しています。

【場 所】愛媛県内

【連絡先】代表理事:田中輝和

E-mail: ehimementa@gmail.com

Facebook: https://www.facebook.com/pmehime/

## ito 重度心身障がい児や医療ケア児の家族の会

同じような境遇の方たちとお茶しながらお話したり、情報交換や勉強会などをし交流を行っています。妊娠中に病気が分かって不安を抱えてるお母さんやこれから在宅に子どもを迎えるお母さんなど、どこにも話せない思いを抱えてるお母さんたちも気軽に参加していただけたらと思います。また、きょうだい児やお父さんたちのためにも年に数回イベントを通して仲良くなっていただいています。

【対 象】重度心身障がい児や医療ケア児の家族

【開催日】年に6~8回程度(Instagramにで告知しています)

【場 所】主に、総合福祉センターはらまち、砥部町中央公民館で行っています。

【連絡先】会長:城山 由香里(じょうやま ゆかり)

電話 090-9452-7227 Instagram: @ito\_ehime



# ■交流会

ラ·ファミリエでは、必須事業の相談支援のほか、相互交流支援、就職支援、きょうだい支援、学習支援などの任意事業も行っております。

令和5年度は、媛っこすくすく愛キャンプを除いて、対面で7回、リモートで3回、合計10回の交流会を開催しました。



## 「バーチャルの世界であそぼう!」

開催日: ①令和5年4月8日(土)(参加者3名)

②令和5年9月16日(土)(参加者3名)

③令和6年2月17日(土)(参加者1名)

外出しづらい時でも、人と会ったり、季節の風景やイベントを楽しんだりしたい…

何か代わるものはないかと考えて、Nintendo Switch のソフト「あつまれ どうぶつの森」を使って、

バーチャル世界で一つの場所に集まって、お話をしながら遊びました。春、秋、冬と開催し、釣り大会をしたり 島中をみんなで散策したり、「最近どう?」という話もしながら過ごすことができました。





















# 「ゆる~くボードゲーム会」

·開催日:令和5年5月20日(土)

·参加人数:7名

地域子どものくらし保健室に、小学校低学年から高校生まで7名のお子さんが集まりました。

最初は、全員で簡単なトランプゲームをした後、2 チームに分かれて、やってみたいボードゲームにチャレンジしました。 ババ抜きや「ナンジャモンジャ」などもしましたが、今回、人気だったのは「ito」というカードゲームで、「無人島に持っていきたいもの第45位は?」「かわいいもの第99位は?」など、お子さんそれぞれの価値観が見えるような、面白い時間でした。

また、手作りのおにぎりの神経衰弱を準備していたのですが、お子さんに新しいおにぎりのカードを書いてもらって、カードを増やしてもらいました。ゲームの合間には「新学期どう?」というお話もできました。初めましてのお子さんでも、一緒にゲームをしていく中で、みんなでワイワイ楽しめた日になっていたかなと思います。







# 03 (努力義務事業)相互交流支援事業

3

## 「おかんの会 布ぞうり教室 |

·開催日:令和5年7月10日(月)

·参加人数:4名

布ぞうりの講師をお招きして、集まった「おかん」の皆さんと布ぞうりを作りながらお話をしました。ぞうりが完成するまで3時間ほど、近況などを雑談しながら過ごしました。







## 「夏休み宿題大作戦!|

·開催日:令和5年7月22日(土)

·参加人数:6名

小学校低学年から高校生まで、6名のお子さんが地域子どものくらし保健室に集まりました。宿題を持ち寄ってくれたお子さんたちが、同じ机に向かって、「夏休みの宿題何がある?」という話をしたり、ボランティアの先生と一緒に自由研究のテーマや人権標語を考えたり、午前中は部活だった!というお子さんがすごい集中力でワークを解いていたり…2時間ほど、一緒に過ごしました。今回は、現役中学校の先生もボランティアとして参加!お子さんと一緒に宿題に取り組んでくださいました。初参加のお子さんもいましたが、持ってきていた宿題が終わると、他のお子さんと一緒に遊んだりもしました。





## 「午後のお茶会」

·開催日:令和5年10月21日(土)

·参加人数:4名



病気のある中学生や社会人の方、ご家族さんなどが地域子どものくらし保健室に集まりました。近況や最近気になっていることをお話したり、テスト勉強を一緒にしたり、「もうすぐ受験なんだよね」「最近は仕事の合間にこんな勉強をしているよ」「マイブームはこれ!」「こんなことを楽しみに今は頑張っているよ」など、お菓子を食べつつ、ゆったりとお話しながら過ごしました。



# 「キャンプ振り返り!クリスマス会」

·開催日:令和5年12月24日(日)

·参加人数:9名

夏に行った媛っこすくすく愛キャンプの振り返りも兼ねて、クリスマス会を行いました。 クリスマスイブでしたが、キャンプに参加してくれた子どもたち9名が地域子どものくらし 保健室に集まってくれました。まずは、キャンプの写真を見ながら、どんなことをしたか、何 が楽しかったか、キャンプに参加して良かったことなどを振り返りました。お気に入りの写真 1 枚選んでもらい、フレームに入れてプレゼントをしましたが、ホテルでみんなで遊んでいる







ところ、スイーツ作りのところなど、それぞれのお子さんが違った一枚をセレクトしていました。その後、焼いたワッフルにトッピングをして食べたり、ボードゲームをして遊んだりしました。途中、なんとサンタさんが登場! プレゼントを子どもたちに配ってくれました!!

ご参加くださった皆さん、サンタさんありがとうございました♪









## 「おとな風?! 新年会|

·開催日:令和6年1月20日(土)

·参加人数:3名



社員証風の名札をつけたり、ネクタイを締めたり、つけ髭をつけてみたり、飲み物をお猪口で飲んでみたりと、大人風?! な雰囲気を楽しみました。乾杯!もしながら、今年の抱負や、やりたいことを尋ねると、頑張りたいことや行ってみたいところなどを教えてくれました。その後、お正月の福笑いにちなんで「へんがおならべ」というカードゲームをして、面白い顔を作って遊んだり、羽つきをして遊んだりしました。



## 「卒園・卒業お祝い会」

·開催日:令和6年3月24日(日)

·参加人数:12名

この春に卒園・卒業をしたお子さんたちと「卒園・卒業お祝い会」を開催しました。 4月から小学生になるお子さん、この春に高校を卒業したお子さんなど幅広い年齢層の お子さんが集まりました。初めて交流会に参加したお子さんや、久しぶりのお子さんも いて、最初に自己紹介をした後、一緒にマルブンさんのお弁当を食べながらお話をしま した。お弁当を食べ終わった後は、カードゲームをしてワイワイとした雰囲気で過ごし ました。新しいステージへ進む子どもたちに「おめでとう」と言えたこと、嬉しく思い ます。また新しい場所でのお話を聞けること、楽しみにしています。



「卒園・卒業お祝い会」に参加させていただきました。最初に、マルブンさんのお弁当を食べながら、ラ・ファミリエのスタッフさんや他の参加者の子たちと話しました。ナポリタンやサラダなど、私の好きなものがたくさん入っていて、とても美味しかったです。初めましての子ばかりで、少し緊張しましたが、少しずつ話せて良かったです。無事、なんとか高校卒業できて、お祝いしてもらえて嬉しかったです。ありがとうございました。







## 「媛っこすくすく愛キャンプ」

- ·開催日:2023年8月19日(土)~20日(日)
- ·参加人数:60名(病気のあるお子さん等14名、きょうだいさん等12名、ボランティア28名、スタッフ6名)

2023年度の媛っこすくすく愛キャンプは、2019年以来、4年ぶりに愛南町へ向かい、1泊2日での開催となりました。たくさんの方々のご協力のおかげで、子どもたちの笑顔を見ることができた2日間でした。ご参加くださいました皆さま、ご協力くださいましたボランティアスタッフの皆さま、本当にありがとうございました!

#### ●愛南町に集合!編

病気のあるお子さん、きょうだいさん、医師、看護師、学生ボランティアをはじめとした心強いボランティアスタッフの皆さんが、19日のお昼に愛南町に集まりました。

メインの活動場所である僧都ふれあい交流館にて、「久しぶり!」「初めまして!」という声を聞きながら、開会式をスタート。檜垣理事長の挨拶から、愛南町教育委員会 教育長の児島秀之様のご挨拶、そしてラ・ファミリエからキャンプで気をつけることなどをお話したあと、グループに分かれて昼食を食べました。グループのお子さん、ボランティアさんたちもドキドキ自己紹介をしながら、キャンプがスタートしました。







#### ●キャンプ旗づくり編

それぞれのお子さんたちが描いた絵を集めて、1つの大きな絵を作るというチャレンジ!この方法は、2022年度ベネッセ助成事業にて愛媛県のアーティスト早崎雅巳さんが教えてくださった抽象画アートです。クレヨンを使って、絵を仕上げていきました。

絵を集めてみると、なんだかバラバラに描い たのに繋がっているような気もして…

完成したキャンプ旗を見て、「こんな塗り方もあったんだ」「これ好きだな〜」などの声もありました。



#### ●スイーツ教室編

洋菓子屋のラポールさん監修で、パティシエさんと「トライフル」というお菓子作りにチャレンジ!フルーツを型抜きで可愛い形にしたり、ジャムやスポンジケーキ、生クリームで層を作ったり、最後には自分なりのデコレーションで仕上げたりして、完成させました。同じ材料を使っても、やっぱりお子さんそれぞれの良さが光る!素敵なケーキに仕上がりました。



スイーツを食べた後は、外へ自然散策に行きました。「かがやいているものを探してきてね」「これぞ夏!なものを探してきてね」など、グループごとにミッションをもって出発!川の水面がキラキラしていたり、空がとっても青かったり……いろんなものを見つけてくれました。

## ●こども会議編

ミッション進行中!

外での活動の後は、屋内で「こども会議」をしました。テーマは「自分の"からだのエネルギー"と"こころのエネルギー"」について。どんな時にエネルギーが減って、どんな時に充電されるか、自分のことを振り返りながら考えてみました。「ご飯が食べられないとエネルギーが減るよ」「運動の後はエネルギーが減るよ」「寝不足だとエネルギーが減っているかも」「お風呂に入ったら充電される!」「美味しいものを食べる!」「友達と遊ぶ約束をする!」「好きなことをする」「ありがとうって言ってもらえると充電される」などなど……

自分の振り返りができたら、他のお友達のも見せてもらって、「いいね!」と思ったものは、やってみよう欄に書きました。規則正しい生活やこまめな休憩も大事ですが、お友達との関わり、好きなことの時間なども大事にしているんだなと感じました。



#### ●BBQ &宿泊編

1日目の夕食は、愛媛の洋食屋 マルブンさん監修のバーベキュー。サラダ、お肉、お魚、パスタなどなど…美味しいものをみんなで食べて、からだも心もエネルギーを充電する! そんな時間になりました。そして、お腹がいっぱいになった後は、宿泊するホテルへ移動。お友達やボランティアさんと一緒にお部屋で就寝して、翌日に備えました。





## ●川遊び編

2日目の午前中は、川遊び!ライフジャケットを着て、川に入りました。限られた時間でしたが、暑い中の冷たい川で夏らしさを感じました。お子さんたちと一緒に、医師・看護師などをはじめとしたボランティアさんも一緒に川へ入り、みんなで夏を満喫しました。







## ●昼食づくり編

子どもたちには、カレーの副菜になるサラダ作りにチャレンジしてもらいました。グリーンサラダとポテトサラダを、ラポールさんと一緒に仕上げ。見た目もとっても素敵なサラダができました。ラポールさんやボランティアさんが作ってくださったカレーと一緒に食べました。







## ●スイカ割り編

昼食づくりの合間に、スイカ割りにチャレンジ。目隠しをして、みんなの応援の声をもとに、スイカを目指します!みんなの協力で割れたスイカは、その後美味しくいただきました!

#### ●閉会式編

閉会式では「こども会議」で考えたことを発表する時間を作りました。みんなの前で緊張する姿も見られましたが、それぞれの身体と心のエネルギーの充電方法を知って「なるほど!」と思うこともたくさんありました。最後には、キャンプでお世話になったみなさんにお礼を伝えて、記念撮影をして、名残惜しかったですが、解散!となりました。

たくさんの方々に支えられつつ、子どもたちと過ごせた2日間でした。お力を貸してくださった 皆様、参加してくださった皆様、本当にありがとうございました!





#### 《参加したお子さんからの感想》

「私は今回のキャンプが2回目の参加でした。初めて参加した時はまだ小さかったのですが、楽しかった思い出ばかりでした。なので、今回もすごく楽しみだったけど、久しぶりの参加なので、行く時はドキドキしました。愛南町に着いて、グループ発表で歳が近い子と同じグループになりました。初めは緊張したけど、すぐに緊張が取れて、グループのみんなと仲良くなれたのでよかったです。ラポールさんのスイーツ作りでは、自分でアレンジして上手く出来たので嬉しかったです。ホテルでは、お友達とたくさん話したり、トランプをしたりできて、リラックスして過ごせました。とても楽しかったです。こども会議では、色々なことを考える時間ができてよかったです。私は学校ではプールの授業が出来ないけど、キャンプではお友達と一緒に水遊びが出来たのがすごく嬉しかったです。新しい友達が出来たり、色々な体験が出来たり、成長できるキャンプとなりました。今年も参加して、去年みたいに色々なことを楽しみたいです」

#### 《参加したボランティアさんからの感想》

「キャンプに参加させていただき、スイーツ作りや BBQ、川遊びなどのレクリエーションやこども会議を通して実際に患児やきょうだい児、保護者の方と関わる中で、それぞれの方の思いについて知ることのできるこの機会はとても貴重な経験が出来たと思います。何よりも夏休みでもお出かけに行く機会が少ない患児やきょうだい児が「楽しかった!」と言ってくれたことがとても嬉しく感じました。2日間という短い間でしたが、たくさんの方と交流でき、仲を深めることが出来ました。来年のキャンプも是非参加したいです」

# ■技能研修 (iPad 研修)

·開催日:令和5年4月~令和6年3月(不定期)

昨年に引き続き、主に iPad を使ってイラスト制作を行いました。体調の悪い日があったり、検査入院されたりと、色々な事がありましたが、イラストを描くことが自分の自信になるよう、頑張っています。現在は LINE のスタンプ作りを始めたところです。

# ■就職活動に向けて

就職を希望している患児に対して、就職活動の流れや、電話のかけ方の練習、 履歴書の書き方の確認や面接の練習などを行いました。面接の練習の中では、 自分の病気に関する説明の仕方なども練習しました。



▲iPadを使って鳥を描きました

# ■「マナー講座」

- ·開催日:令和6年3月3日(日)
- ·参加人数:7名

松山市内にある、創作 Restau Sabrina(サブリナ)にて「マナー講座」を開催しました。中学生から社会人までの方が集まり、お店のオーナーシェフである安永様からナイフやフォークの使い方などのテーブルマナーや、目上の人の席の位置などのビジネスマナーについて、実際にランチをしつつ教わりました。お店の素敵な空間とお料理、慣れないナイフとフォークでの食事にドキドキしながらスタートしましたが、徐々に慣れていき、「上座」「下座」といった席の座り方について、カトラリーの持ち方や、食事中・食事終わりの置き方、ナプキンの使い方などを学んでいきました。

また、マナーを意識し過ぎるよりも「周りの方に迷惑をかけないことが一番だよ」ということも教えていただき、穏やかな雰囲気の中で、久しぶりに会う参加者さん同士でのお話もすることができました。









◀シェフの貴重なお話も聞かせていただきました

# ■きょうだい支援

## ○きょうだいお茶会

- ·開催日: 令和5年6月4日(日)(中学生以上のきょうだいさん対象)
- ·参加人数:4名

中学生から社会人までの4名が集まりました。

ボードゲームをしたり、まったりお話をしたり、といった時間でしたが、4年前の媛っこすくすく愛キャンプの写真を見返すと、実はその時に会っていた!というきょうだいさんもいて…… 久しぶりにじっくり話せて良かったなと思います。お互いの近況、最近好きなことや頑張っていること、ストレス発散方法など、2時間半ほど地域子どものくらし保健室でお話して、「またね!」と解散しました。



#### 《交流会に参加したきょうだいさんより》

「コロナ禍はオンラインできょうだいの会はありましたが、久しぶりに対面で会へ参加できて嬉しかったです。 普段なかなかきょうだい児という同じ立場の人と会う機会がなく、ラ・ファミリエのきょうだいの会は自分と近い人と出会うことが出来る場所だと思います。 自己紹介カードを通してみんなの好きなこと、頑張っていることを共有したり、何気ない話がとても息抜きになりました。自分らしくいられることを大切にできるきょうだいの会にまた参加できるといいなと思いました。」

## ○媛っこすくすく愛キャンプ

- ·開催日:令和5年8月19日(土)~20日(日)
- ·イベント全体の内容詳細は、P11~14参照

病気のあるお子さんとそのきょうだいさんと過ごすキャンプですが、プログラムの中にはきょうだいさんだけでの活動もありました。旧僧都小学校のグラウンドで、きょうだいさんは外遊び。「鬼ごっこがしたい!」とのことで、グラウンドで思いっきり走って汗をかきました。初めて会ってから数時間後のことでしたが、きょうだいさん同士すっかり打ち解けていたように思います。







▲青空の下、思い切り走りました

# 05 (努力義務事業)介護者支援事業

## ○ 「拡がれ!きょうだい支援」

·開催日:令和6年3月23日(日)10:00~12:00

・会場:松山市総合福祉センター

様々なきょうだいたちが、地域や社会の多くの人と一緒に関わっていけるように、きょうだいが自分らしく健やかに成長していくことを目指すとともに、きょうだい支援に対する啓発と理解推進を目指して、シンポジウムを開催しました。

はじめに、当法人理事の檜垣高史から開会の挨拶をさせていただき、理事・地域子どものくらし保健室ディレクターの 西朋子から事業説明をさせていただきました。その後、愛媛大学大学院教育学研究科の樫木暢子先生から「きょうだい支援についての概論」をいただいた後、シンポジウムとして、ラ・ファミリエがお会いしているきょうだいさんからの言葉、ダンボクラブ様からご紹介いただいたきょうだいさんのお話、全国きょうだい会 事務局長の太田信介様からのお話をいただきました。その後、樫木先生を座長として、質疑応答に入りました。

きょうだいたちが自分らしく、自分のいろんな気持ちを大切にしながら過ごしていけるように、と考えることができた 1日でした。ご登壇いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。





#### 《シンポジウムに参加した きょうだいさんより》

「今回きょうだいとしてこの会に参加して、自分以外の同じ立場のきょうだいの話を聞き、年代の差や病気によって受け止め方や感じ方が様々だと感じ、自分も共感できるところもあったり、そういった考え方があるのだと気付いた部分もありました。また、過去の辛いことも蘇ってしまいましたが、二人の話を聞いて辛いことだらけではなかったのだと改めて思いました。最後に、この会がきょうだい児だけでなく、今だからこその多様なきょうだい達の力になることを願っています。」

# ■学習支援

病院での長期療養や退院後の復学のための自宅療養などにより、教育から長期離脱している子どもたち、またそれらの学習空白により復学したものの学習が遅れがちな子どもたちがいます。ラ・ファミリエでは、病気により教育的ニーズが生じている子どもたちに学習支援を行なっています。

令和5年度は、小学生6名、中学生6名、高校生1名の合計13名のお子さんと、計332回の学習支援をしました。 今年度は、小学校1年生から高校生までの幅広い年齢層のお子さんと一緒に学習を進めました。また、13名のうち4名が 高校受験を控えた中学校3年生で、受験期の学習のフォローのニーズの高さを感じました。

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類感染症に移行してから、病棟での対面の学習支援も叶うようになり、 年間98回は対面での学習支援、234回はオンラインでの学習支援となりました。

2022年度ドコモ市民活動団体助成事業を受託し、学習支援ボランティア研修会を今年度も継続して実施することができました。ボランティア含む支援者の輪を広げながら、学習支援が続けられる体制づくりを継続していきたいと思います。



▲小学生のお子さんとすごろくを作ってカタカナの練習をしました。



▲中学3年生のお子さんと高校 入試過去問に取り組みました。



#### 《学習支援の感想》アンケートより一部抜粋

「気軽に話せてとても楽しかったです (小学生)」

「自分が思っている以上に正直に思ったことを話したりして、塞ぎ気味な気持ちが軽くなった(高校生)」 「子どもの学びたいという気持ちを上手に引き出してくれて良かった(保護者)」

[話し、笑い合うことで「今」自分と向かい合い、学習と治療に取り組めていると思います(保護者)]



# ■第14回自立支援員研修会【アドバンス編】

- ·日時:令和5年11月7日(火)~8日(水)
- ·開催様式:Web会議システムZoom

令和5年度の研修会のテーマは「教育」で、ラ・ファミリエからスタッフ1名が 受講するとともに、講師として具体的な事例についてお話させていただく時間もい ただきました。2日間を通して、病気のある子どもたちの就園・就学や学習・復学 小児慢性特定疾病自立支援員
アドバンス編
で専門検討~
脚球とものくらし保健者
理事・自立支援員 西 朋子
自立支援員 日山 朋乃

支援について、就学・教育における合理的配慮のことや把握しておきたい施策や関係機関について、また当事者家族の想いについて知り、学びを得ることができました。今後、私たちの日々の取り組みへ繋げていきたいと思います。

# ■小児慢性特定疾病児童等移行期医療支援者養成研修会

- · 日時: 令和6年3月14日(木)18:00~20:10
- ·会場:TKPガーデンシティ東梅田

病気のある子どもたちが大人になっていく過程でポイントとなる「移行期」のことについて、移行期医療支援や移行期の患者·家族支援、成人移行支援の諸外国の動向について学びました。子どもたちが身の回りのことを自分ごととして捉え、自立して生活していけるように私たちも取り組んで参りたいと思います。



# ■成果報告会

- · 日時: 令和6年3月20日(水·祝) 13:00~15:00
- ·会場: 愛媛大学医学部総合教育棟2階 基礎第2講義室+Web会議システムZoom

令和5年度小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の成果報告会を会場とオンラインでのハイブリッド形式で開催しました。まず、檜垣高史理事長による本事業の全体の報告から始まり、講演「小児慢性特定疾病児童の就園・就学について」として、就園について、大阪公立大学大学院看護学研究科の仁尾かおり先生に、就学について、愛媛大学大学院教育学研究科の樫木暢子先生、愛媛県特別支援教育課の安部様より講義をいただきました。その後、自立支援員の大西・玉井・越智により今年度の小慢自立支援事業の報告をいたしました。そして、最後は、愛媛県、松山市のご担当の方よりご挨拶をいただき、石田副理事長より閉会の挨拶をして閉会となりました。講演での学びを得ながら、成果と課題を整理しつつ、明らかになった課題は、活動の伸びしろだと考え、今後取り組んでいきたいと思います。

報告会にご参加いただいた皆様、そして、活動にご支援いただいた皆様、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。





# ■ラ・ファミリエ 支援自販機設置のお願い



愛媛新聞社様



株式会社よんやく様

## 支援自販機とは

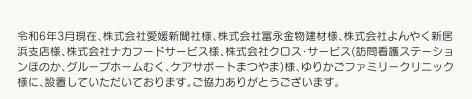
自動販売機を「募金箱」として活用いたします。 売り上げの一部を「ラ・ファミリエ」が行っているさまざまな 支援活動として使用させていただくものです。

※新規設置、コカ・コーラの自動販売機に限らせていただきます。

## 支援自販機のしくみ

- ●支援自販機提供、設置にかかる費用は コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社松山営業所が無償提供します。
- 支援自販機の売上高の5%→「ラ・ファミリエ」へ10%→設置先へ(電気代等を賄います)
  - ※割合はご相談させていただきます
- ●支援自販機の製品の補充・売上金の回収、空き容器の回収、周辺の清掃、苦情などの処理は全てコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社が行います。







ご協力お願いいたします





# ■会員募集・寄付のお願い

当法人は、2018年6月1日、認定NPO法人として愛媛県より認定されました。認定NPO法人とは、NPO法人のうち、その運営組織や事業活動が適正かつ公益の増進に資することについて一定の要件を満たしているとして、所轄庁から認定を受けたNPO法人のことです。ラ・ファミリエも認定NPO法人となりましたので、当団体にご寄付いただくと、寄付金控除もしくは税額控除の対象となり、税制上の優遇を受けることができます。確定申告を行うことで、個人の場合は税金が還付され(寄付金総額の最大50%)、法人の場合は損金算入ができます。

認定NPO法人ラ・ファミリエは、皆さまのご支援により支えられて活動できております。頂戴いたしましたご寄附は、病気のある子どもとそのご家族たちの笑顔のために、イベント運営等に活用させていただいております。認定NPO法人として存続して活動できますよう、皆さまからの温かいご支援、ご寄附を賜りますよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。





# 会員・寄付の種類

# 正会員(個人) 5.000円/年

当法人の運営に参加 していただく方

# 後援会費(個人)

10 3,000円/年

継続的に経済的な支援を していただく方

## 後援会費(法人)

10 10,000円/年

継続的に経済的な支援を していただく方

## 1回ごとの寄付

1回ごとに任意の金額で寄付を していただくことができます。 ご自分のペースに合わせた 寄付ができる方法です。

## ●寄付控除について

ラ・ファミリエは、2018年6月1日に愛媛県の認定を受け「認定NPO法人」となりました。認定NPO法人に寄附された個人の方は、確定申告時に寄付金控除などの税制上の優遇措置を受けることができます。また、法人の方も損金に算入できる金額が拡大されます。 寄附金には後援会費・法人会費を含みます。(※正会員費は対象外となります。)

当法人が発行する受領証明書(通常寄付年の翌年1月末発行)をお手元に保管の上、当該年分の確定申告で手続きを行ってください。 ※詳しくは「国税庁ホームページ」(※認定NPO法人寄付 国税庁で検索)の参照、または、最寄りの税務署へお問い合わせください。

## ・クレジットカード決済

こちらのSyncable (シンカブル) オンライン決済サービスよりお手続きください。 https://syncable.biz/associate/lafamille



## ・郵便振替

専用振込み用紙をご利用ください。(ラ·ファミリエにございますので、ご連絡いただきましたらお送り致します。) 通信欄には、会員区分【正会員(法人・個人)・寄付】金額、お名前、ご住所、ご連絡先をご記入ください。

※2022年1月17日より手数料が変更になりました。通帳・カードでお支払いの場合は手数料0円。 現金でお支払いの場合、手数料110円が加算されます。ご了承ください。

## ・銀行振込

- ゆうちょ銀行 一六九店(イチロクキュウ店)当座預金 0005062口座名義人 特定非営利活動法人ラ・ファミリエ
- 愛媛銀行
- 伊予銀行

お問い合わせ先

認定NPO法人ラ・ファミリエ(玉井)

TEL 089-916-6035 E-mail:lafamille@cc-sodan.jp



振替用紙以外(ATM等)より振込みをご希望の方は 左のQRコードのフォームから、必要事項を ご記入のうえお送りください。



# おわりに

令和5年度は新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、媛っこすくすく愛キャンプをはじめ対面での相談・イベントなど、お子さんたちやきょうだいさん、ご家族と対面での活動ができることの嬉しさを改めて感じた1年間でした。また、事業の継続とともに、関わっているお子さんたちも年齢を重ねていき、就労に向けての相談が増えてきました。子どもたちの成長とともに私たちもより一層様々な世の中の流れについて、また新しい知識を増やしていかないといけません。地域での仲間を増やしながら「ラ・ファミリエに相談したら何とかなる」と思っていただけるよう、皆様と共に成長し、歩んでいけたらと思います。

認定NPO法人ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室 一同

## 認定NPO法人ラ・ファミリエ

#### ■令和5年度役員名簿 (令和5年3月現在)

役職	氏名	所属等			
理事長	檜垣 高史	愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座 教授			
副理事長	石田 也寸志	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学 特命教授			
副理事長	塩見 光恵	愛媛県心臓病の子どもを守る会 事務局			
理事	今井 博	今井自動車・今井重機 代表取締役			
理事	今井 理恵	宇和島市保健師			
理事	岩井 正一	正一 愛媛県重症心身障害児(者)を守る会 会長			
理事	大藤 佳子	ほ子 ゆりかごファミリークリニック 院長			
理事	樫木 暢子	愛媛大学大学院教育学研究科 教授			
理事	窪田 亜加里	松山赤十字病院 10エリア外来係長看護師			
理事	中井 美穂	愛媛大学医学部附属病院 PHCU看護師長			
理事	中岡 美都里	愛媛県立中央病院 小児病棟看護長			
理事	永井 功造   愛媛県立中央病院  小児科医師				
理事	西朋子	西 朋子 ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室 ディレクター			
理事	西田 ありさ	愛媛県立中央病院 新生児内科看護長			
理事	西村 幸	西村 幸 (交財)日本訪問看護財団 松山相談支援センター 管理者			
理事	濱田 淳平	愛媛大学大学院医学系研究科 小児科学講師(内分泌)			
理事	堀川 恵利子	重症心身障害児多機能型事業所コーラル 管理者			
理事	桝田 夏代	愛媛大学医学部附属病院 NICU·GCU看護師長			
理事	眞鍋 明	株式会社マルブン 取締役会長			
理事	宮岡 智子	愛媛大学医学部附属病院 小児病棟看護師長			
理事	藥師神 裕子   愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 教授				
理事	山本 英一	一 愛媛県立中央病院 小児医療センター長			
監事	黒河 千晴	西条市児童クラブ			
監事	佐野 透	こころざし行政書士事務所			

#### ■令和5年度委員名簿

氏名	所属団体名/役職
檜垣 高史	認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事長 愛媛大学大学院医学系研究科 地域小児・周産期学講座 教授
大藤 佳子	認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事 ゆりかごファミリークリニック 院長
井上 哲志	いのうえ小児科 院長 愛媛県小児科医会 会長
塩見光恵	認定NPO法人ラ・ファミリエ 副理事長 愛媛県心臓病の子どもを守る会 事務局
岩井正一	認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事 愛媛県重症心身障害児(者)を守る会 会長
真鍋 明	認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事 株式会社マルブン 取締役会長
橘憲一郎	有限会社ラポール 代表取締役社長
樫木 暢子	認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事 愛媛大学大学院教育学研究科 教授
西村幸	認定NPO法人ラ・ファミリエ 理事 公益財団法人日本訪問看護財団 松山相談支援センター 管理者・相談支援専門員
高石 德香	ねっとWorkジョイ センター長
佐伯 康人	株式会社パーソナルアシスタント青空 代表
堀本 涼子	愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター 社会福祉士

## 令和5年度小児慢性特定疾病児童等自立支援事業完了報告書(愛媛県・松山市)

発行日 2024年3月31日

発行者 認定NPO法人ラ・ファミリエ(〒790-0813 愛媛県萱町4丁目7-2 カネ宮ビル1F) 企画・制作 認定NPO法人ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室

STAFF(西 朋子・玉井千明・大西和江・日山朋乃・越智彩帆・渡邉伸佳・デザイン/谷田美佳)

#### 問い合わせ先

認定NPO法人ラ・ファミリエ 地域子どものくらし保健室 〒790-0813 愛媛県松山市萱町4丁目7-2 カネ宮ビル1F

TEL/FAX 089-916-6035 E-mail: lafamille@cc-sodan.jp



ラ・ファミリエ 地域子どもの くらし保健室

この冊子は愛媛県及び松山市の委託事業にて作製いたしました。多大なご理解、ご協力をありがとうございます。 引き続き今後もご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。